

3

官庁訪問

3-1

事前準備 (p.15-17)

3-2

当日について (p.18-22)

1.内定者紹介
(p.3-9)

- ・内定者基本データ
- ・内定者プロフィール

2.公務員試験
(p.10-13)

- ・ワンポイントアドバイス

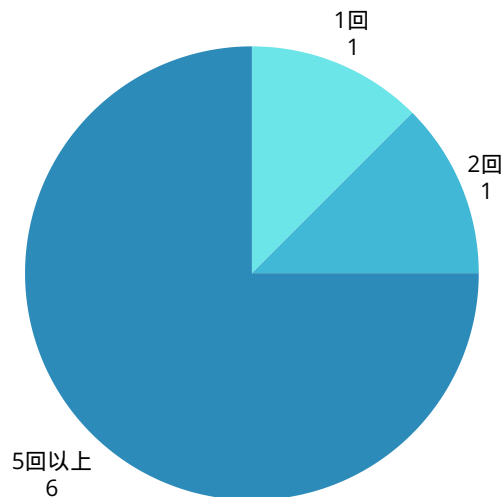
4.最後に
(p.23-26)

- ・就職活動を振りかえって
- ・メッセージ

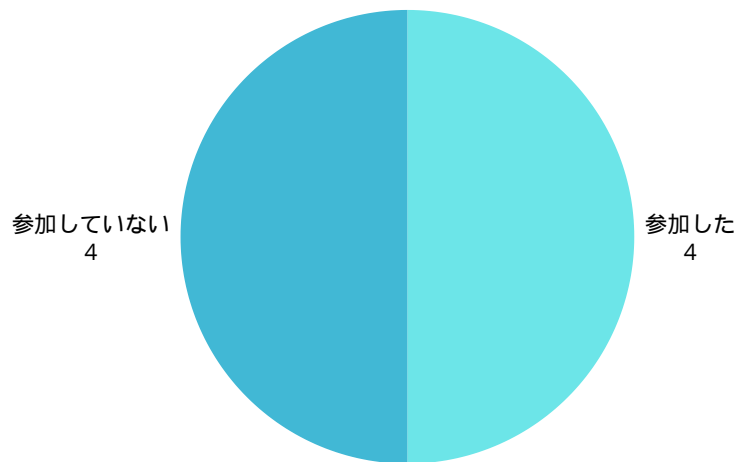
3-1

事前準備

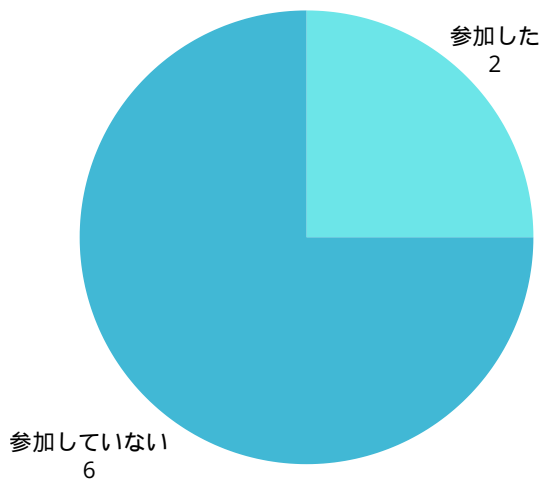
● 説明会の総参加数



● インターンシップの参加状況



● 職員訪問の参加状況

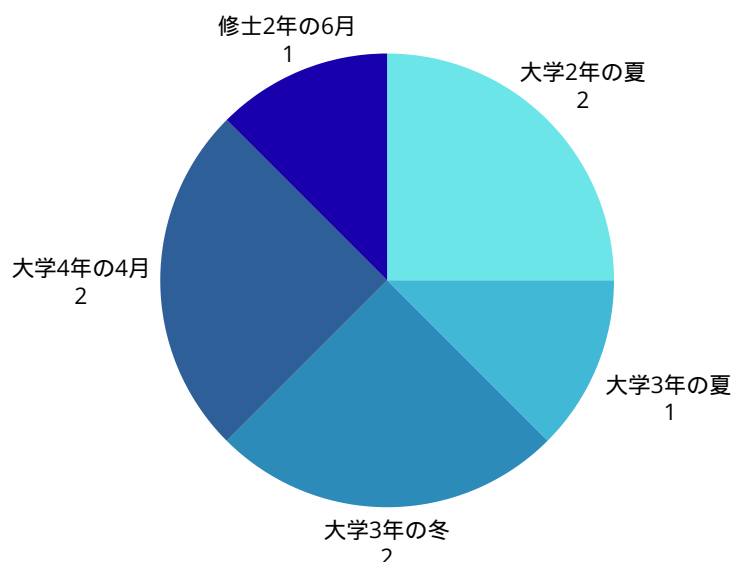


~column1~ 説明会の参加

今年度の内定者の説明会の参加回数は、複数参加した内定者もいれば、1度しか参加していない内定者もありました。説明会に参加することで、公正取引委員会の業務内容を知ることができ、官庁訪問の役に立つ情報を得ることもできますが、説明会に参加できていなくても安心してください。

官庁訪問では、当日のパフォーマンスが評価されていると感じたので、参加回数が少なくても「公正」に評価されると思います。

● 初めて説明会に参加した時期



● 初めて説明会・インターンシップに参加したきっかけ

- ニュースでよく聞く名前に興味があったからです。
- とりあえず多くの省庁の説明会に参加した際の一つでした。
- 授業で公正取引委員会を知って興味をもったことがきっかけです。
- 官庁訪問に伺うことをぎりぎりで決めたため、訪問直前の情報収集として参加しました。
- インターンに参加した際に、公正取引委員会が行っている海外支援に興味を持ったからです。
- 大学のインターン情報を見て、サマーインターンに応募しました。
- 自分が関心のある政策の解説を行う説明会が開催されていたためです。

● 官庁訪問までに役立った事前準備

- ニュースや新聞で最近の動向を追っていたことです。
- ここ1年くらいの公正取引委員会関連のニュースを集めたことです。
- 説明会に出席したりすることで公正取引委員会の政策を自分なりに解釈し、問題意識を持つようにしていました。
- 各省庁が公開している資料を読むことです。
- 年次報告書や実態調査報告書、競争政策に関する書籍を読んだことです。
- 説明会参加やパンフレットを読むことで、職員の方と話しやすくなりました。
- なぜ公正取引委員会を選んだかを理論武装することで、質問に慌てずに答えられました。
- 取適法やスマホ新法などの現在公正取引委員会が力を入れている法律の概要を押さえておくことです。
- 説明会に参加して気になったことをメモに残しておくようにしました。
- ホームページを見て、公正取引委員会がどんな活動をしているのか調べました。

● あまり役立たなかった事前準備

- 入退室のマナーは人事院の人物試験では役立ちましたが、官庁訪問ではあまり役立ちませんでした。
- 他省庁の官庁訪問体験記をネットで探して読み漁ったり、官庁訪問風ネット小説を読んだりしましたが、あまり役に立たなかったです。しかし、小説は面白かったです。
- 公正取引委員会の組織図や部署の名前を覚えることです。

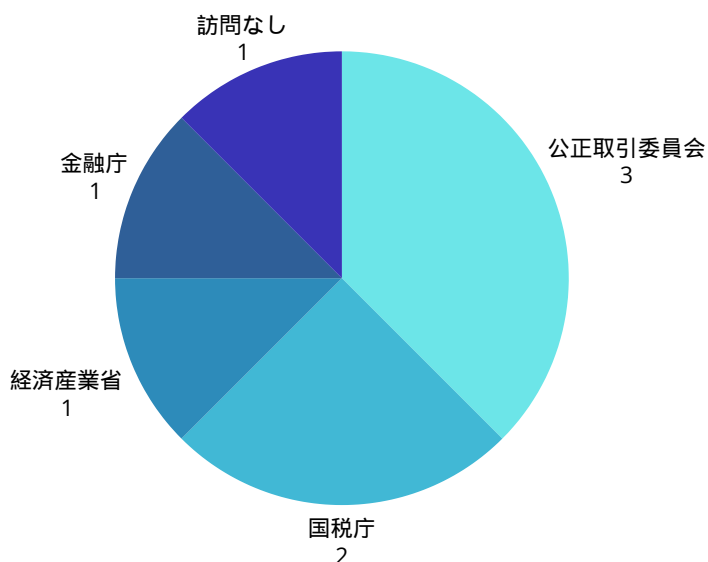
● 官庁訪問のESで気を付けていたこと

- 誤字がないように何度も見直しをしました。
- 簡潔にわかりやすく記述することを気をつけました。
- 無駄な言葉を省き、少しでも多くの情報を載せることに気をつけました。
- 一文が長くなりすぎないように意識しました。

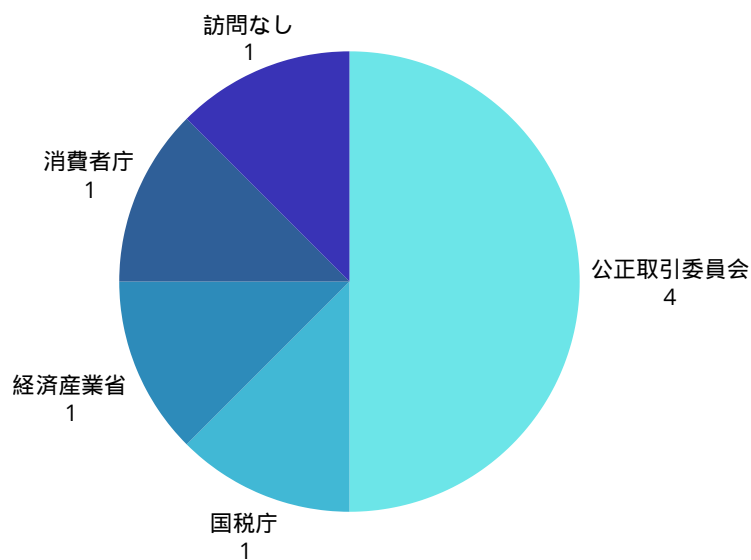
3-2

当日について

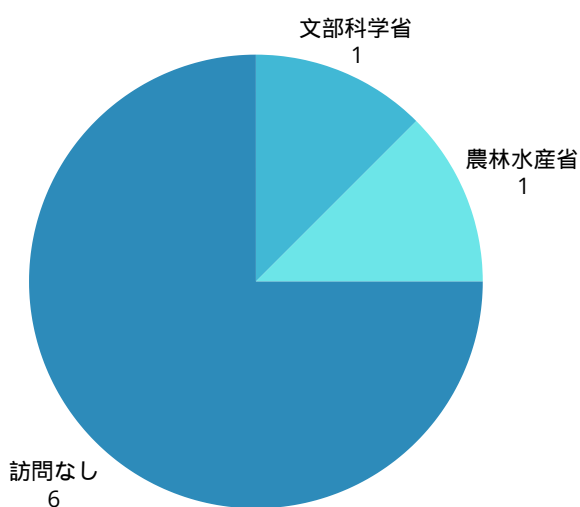
● 第1クール1日目の訪問状況



● 第1クール2日目の訪問状況



● 第1クール3日目の訪問状況



~column2~ 訪問順の正解は？

官庁訪問は、第1クールから第4クールに分かれており、第1クールには3つの省庁に訪問することができます。基本的には、志望度の高い順番に省庁を訪問することになりますが、2日目、3日目に訪問したとしても、採用されるケースは多くあります。第1クール3日目は、どこかの省庁に訪問する人もいれば、筆者のように、体力面を考慮し、休息にあてる人もいます。また、今年度は第2クールから訪問した内定者もいます。

● 他省庁の訪問状況とその理由

- 2日目に国税庁を訪問しました。正直者が損をしない社会を目指している点が、公正取引委員会と重なっていると考えたからです。
- 日本経済の持続的発展に金融面からアプローチしているのが金融庁だと思い、金融庁を訪問しました。
- 経済系の省庁に興味があったので、経済産業省を訪問しました。
- 2日目に消費者庁を訪問しました。業務内容に興味があったのと、消費者の保護を目指すという点で公正取引委員会との共通点があったからです。
- 文部科学省には、大学で学芸員課程の科目を履修する中で、博物館運営におけるダイバーシティやアクセシビリティに関心を持ったため、訪問しました。
- 農業関連の民間企業を受けており、準備の負担が重くなかったため、農林水産省を訪問しました。

● 当日持っていったよかったもの

- メモをとるためのノート
- 軽食（長丁場になるので、昼食だけではお腹が空きます。）
- パンフレット
- 小説を電車で読んでいました。精神的に疲れたときのよすがになります。

● 待機時間の雰囲気

- 穏やかで落ち着いた雰囲気でした。ピリピリした空気はあまり感じなかったです。
- 最初は緊張していて静かでしたが、徐々に会話が弾み明るい雰囲気になっていったと思います。
- 適度な緊張感がありつつ、思っていたよりおしゃべりができて一息つける時間でもありました。
- 穏やかな雰囲気でした。他の省庁では、訪問者同士で政策の議論をしたりと待ち時間も体力を削られたのですが、公正取引委員会では休憩時間として活用できました。



● 待機時間にしていたこと

- 聞かれた内容の情報交換を行ったり、職員の方と話した内容をノートにまとめたりしました。
- 頭を休めるためにぼーっとしたり、他の訪問者の方とおしゃべりしたりしていました。
- パンフレットを読み返したり、同じ机に座っていた方々とお話していました。
- 他の訪問者の方と面接内容について話したり、メモを整理したりして過ごしていました。

● 面接の雰囲気・感想

- 雰囲気は職員の方々によって異なりますが、どの方も私と真剣に話して下さって、とても貴重な経験となりました。
- 小部屋で1対1で行いました。どの職員の方も優しく接してくださいました。
- どの面接官も非常に優しく、分からないことはないか聞きたいことはないか確認しながら面接を進めてくださり、とてもやりやすかったです。
- 緊張させない配慮をして下さる方が多い印象で、話しやすい雰囲気があります。質問時間がそれなりにあるので、自分が気になっていることを整理しておき、積極的に質問すると良いと思います。
- 雑談のように志望動機やガクチカを聞かれることが多く、詰められていると感じることはほとんどありませんでした。
- 面接というよりは普通の会話に近く、その中で訪問者の雰囲気や好奇心を汲み取られているような感じがしました。

● 印象に残った質問

- なぜ、公正取引委員会を志望し、その中でも総合職で働きたいと考えるのか。
- なぜ競争政策が「守り」の施策だと思うのか。
- 独占禁止法を誰から教わっているか。
- 審査を行う際、どのような証拠が有力だと考えるか。



面接で評価されていると感じたところ

- 相手の質問に対し、真剣に考えて自分の意見を述べたところです。
- 逆質問の際に、質問内容の鋭さというよりも、いかに自分の志望度が高いかをアピールし、会話を長く続ける粘り強さや積極性が評価されていると感じました。
- 質問の意図を理解して的確に答えることができるかという点だと思います。
- 少し突っ込んだ話をする際に論理的に話を組み立てられるかだと感じました。
- 志望度の高さは評価されていると感じました。また、官庁訪問を通して、公正取引委員会に対する志望度や自分の考えがどのように変化したのかを見られていると感じました。
- 一緒に働きたいと思ってもらえるような人柄、雰囲気が大事だと思いました。

大変だったこととその乗り越え方

- 2週間近くホテル生活だったので、食事探しが大変でしたが、ホテル近くにチェーン店が複数あったので助かりました。
- 精神的に疲れるため、ホテルのシャワーではなく、あえて銭湯に行ってリフレッシュしていました。
- 一日中面接で頭がいっぱいだったことが大変でした。そのため、休みの日にゆっくり休んで体力を回復させて、次の面接に臨んでいました。
- 官庁訪問の最後に、進みたい志望先を一つに決めなければいけなかったことです。様々な人からアドバイスを聞き、どこの省庁で最も自分の目指す社会が実現できるのかを考え、選びました。

官庁訪問中にしていて効果があったこと

- 面接中にしてしまった失敗を反省し、どのように改善するか考え、次に活かすことです。
- 官庁訪問中に同じ志望者の方と積極的に会話するようにしていました。私は緊張しがちなので、会話することであまり緊張せずに面接をすることが出来ました。
- 訪問がない日にバイトや部活など普通の生活をするということです。精神的に安定します。
- 一日終わるたびに、気になっていたコンビニスイーツを食べていました。明日も頑張ろうと思えます。

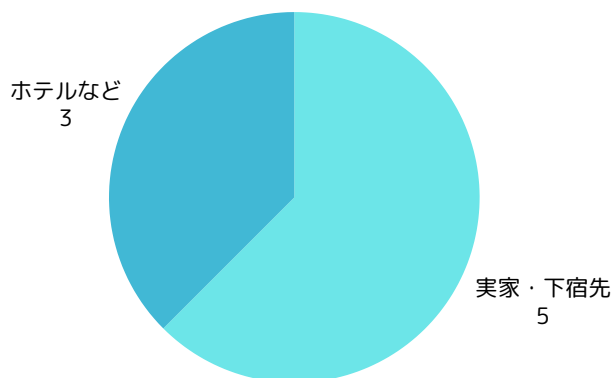
● 後悔していること

- 面接カードを面接官に渡し忘れましたが、問題ありませんでした。
- 試験前日の夜に紅茶を飲んだのですが、カフェインで眠れなくなりました。
- 面接した職員の方のお名前を間違えてしまったことです。面接官の名前を記録しておく、後で質問された際にも慌てずに対応できると思います。

● 官庁訪問の一言アドバイス

- 普段聞けないお話も聞くことができるので、楽しむ気持ちを持つとよいです。
- 面接して下さった方のお名前、所属、印象に残った質問等をメモしておく、次回以降の面接に役立ちます。
- とにかく志望の高さをアピールすることを意識し、時間が尽きるまでたくさん質問をすること（一人につき20問くらい）を心掛けました。
- 質問や受け答えが素晴らしいものではなくても、粘り強い姿勢が評価につながると思います。
- 官庁訪問は全体的に和やかな雰囲気で行われたので、職員の方と落ち着いて会話することが大切だと思います。
- 着飾らずありのままの自分で訪問するのが1番良いように思います。

● 官庁訪問中の滞在先



~column3~訪問中の滞在先は？

官庁訪問は長丁場のため、地方からの参加者は、ホテルに泊まることが多くなると思います。筆者の場合は、赤坂見附のホテルに泊まっていたので、移動が快適でした。ただ、金銭的負担が大きいことや、どうしても外食続きになってしまうなどの苦勞もありました。

しかし、地方から来た方にとって、東京で2週間ほど過ごす経験は楽しいことも多く、官庁訪問期間の土日には、東京観光を楽しんだ内定者もいるので、観光も含めて官庁訪問を楽しんでください。